

地方創生推進交付金事業について

資料2

1. 美食の街いすみ～サンセバスチャン化計画～(事業計画額: 34,757千円)

事業計画

○ミシュランの星付オーナーシェフをはじめ、多くの著名な料理人がいすみ市にレストランやオーベルジュを開設し、一流の食材と技術を求めて、東京だけでなく、世界から食を求めて人が集まる街を出現させるため、以下の事業を行う。

- ・出張港の朝市事業
- ・レストラン(オーベルジュ)誘致実証事業
- ・一流料理人と農家・漁師との交流会、いすみ食材フェア等の開催
- ・いすみ食材・料理研究

取組状況

○いすみ製品の認知度向上や販路拡大の一環として行った大山商店街(東京都板橋区)やバスタ新宿で行った「いすみ産品PRイベント」、いすみ市料理人やいすみ市の食材を取り扱う料理人によって行った「料理イベント」、19件を超える新聞や雑誌等メディアに取り上げられることで、認知度も向上した。その結果、市内業者の新規取引は23件となった。

○プロが作った料理を持ち帰り自宅や職場で味わう「中食」としてCLUB REDメンバーと市内料理人がテイクアウトメニューを開発。昨年度までいすみ市の「食」の魅力を市内外へ向け発信を行ってきたが、マラソン大会等イベントでの販売の他、各店舗でも販売し、いすみ市民が「地元のおいしさ」を実感できる取り組みを実施、好評を得た。

重要業績評価指標(KPI)

- (1)いすみ市産品の新規取引店舗数 目標:10店舗 実績:22店舗
- (2)いすみ市内でのレストラン、オーベルジュ等の新規開業数 目標:1件(平成30年度) 実績:1件
- (3)いすみ市へ観光入込客数 目標:10万人増 実績:14万人増

2.新しい「人の流れ」から「しごとの場」まで地域一体で創造する千葉創生事業 (事業計画額:10,174千円)

事業計画

- 県と6市町により、「移住・定住」から「就農」「就職」「起業・創業」まで一体的に取り組む「千葉モデル」方式の確立及び横展開を図り、千葉県への「新しい人の流れ」と「多様で質の高い働く場」の創出、さらに地域における「ひと」と「しごと」の好循環を実現させるため以下の事業を行う。
 - ・地域課題を解決するための企業と協働した誘致活動の展開
 - ・空き公共施設等のリノベーション検討及び補助金制度の構築、お試し居住及びお試しオフィス等の情報発信
 - ・企業・起業家誘致に係るパンフ及びサイト作成、PR事業、合宿、ツアー、フィールドワーク等の検討・実施

取組状況

- 企業・起業家誘致活動業務委託、企業と協働し活動を行った。都内でPR交流イベント2回、2泊3日の合宿ローカル起業キャンプを通して、地域資源、地域の人とのつながり、起業準備、事業計画作り等を学ぶ場や、参加者で支え合うメンタリングプログラムを全10回及び起業ワークを4回実施し、平成30年度集大成とし、地域住民で起業家を応援するローカル起業フォーラムを実施。事業の交流人口253名
- 遊休不動産活用コーディネート業務委託、見過ごされてきた遊休不動産の有効活用を多様なスキルを有する人々が連携・協働し3件の空き家・空き店舗について2泊3日で活用方法を学び、最終日には所有者へ活用プレゼン発表を実施。発表会参加者60名
- 起業家発掘及び情報発信業務委託、いすみの「食」を切り口にチャレンジする起業家や、起業を考えているが不安が多い人を先輩起業家のサポート体制を打ち出し、東京圏からの呼び込みとして都内で2回の交流イベント、市内での1泊2日での現地フィールドワークを開催。事業の交流人口35名

重要業績評価指標(KPI)

(1)地域しごと支援事業の利用者数	目標:200人/年	実績: 0人
(2)空き公共施設等への進出企業数	目標:16社(H29→31年度)	実績: 1社
(3)起業家応援イベントの参加者数	目標:2,500人/年	実績:348人
(4)企業と市町村とのマッチング件数	目標:100件/年	実績: 7件